

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-3
高齢者福祉の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

高齢者福祉課長 稲田勝

電話番号

0852-22-5236

事務事業の名称	介護施設等整備推進事業（総合確保基金分）	
目的	(1) 対象	開設介護施設
	(2) 意図	介護施設の開設準備経費を助成することにより、開設時から安定した、質の高いサービス提供を可能とする。
事業概要	消費税増収分を財源として造成された基金を活用して、介護保険施設等の開設準備経費の一部を助成する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	取組目標値						
	実績値	100.0	100.0					
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
	実績値							
		達成率	-	100.0	-	-	-	%
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	95,864	101,783
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成28年度整備実績	
・特別養護老人ホーム	3箇所（90床）
・認知症高齢者グループホーム	3箇所（36床）
・小規模多機能居宅介護事業所	2箇所（12床）
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1箇所

6. 成果があったこと（改善されたこと）

市町村と連携して、整備計画を適切に把握し、予算額を確保し、整備実施施設に対して助成することができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

本事業は、市町村が実施する介護保険施設等に対する補助事業であるため、事業予算の確保及び執行が市町村の意向に左右される

②困っている状況が発生している「原因」

第6介護保険事業計画（H27～H29）に基づいて整備されることとなるため、市町村の整備計画を適切に把握していく必要がある

③原因を解消するための「課題」

市町村における整備計画の進行管理について、情報を共有していく必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

本事業は、平成27年度から「医療介護総合確保基金」を財源として新たに構築された事業である。第7期介護保険事業計画（H30～H32）の策定に向けて、市町村が整備計画を見直す時期となることから、県としても必要な情報提供や助言等を行うとともに整備計画の把握を行い、必要な予算額を確保に努め、整備事業が円滑に行われるよう支援していく。